

大阪支部 24年度「滋賀地方部会」開催報告

(公益財団法人 鉄道総合技術研究所 風洞技術センターの見学と懇親会)

穏やかな天候に恵まれた平成24年10月13日(土曜日)、総勢29名(内、ご夫婦2組)が、滋賀県米原駅に集合をして(公財)鉄道総合技術研究所、風洞技術センターを見学した。

先ず井門敦志所長より、当センターの概要説明と研究テーマの紹介があり、その後2班に分かれて施設の見学をおこなった。所長のお話によると、当センターは新幹線をはじめとする高速鉄道の空力騒音・空気力学的諸課題の研究開発に対応するために、米原駅のすぐ近くに1996年に建設された大型低騒音風洞である。主な特徴は 1. 世界に類を見ない低騒音性能 2. 大型低騒音風洞では最高の時速400kmまで実験可能 3. 実走行を模擬するための大型移動地面板を装備 とのことでした。自動車の実車試験が可能な測定部を有することで、鉄道のみならず自動車など汎用的な試験にも対応しているので、フル稼働状態のようでした。

現所長と近藤善彦元所長に、密閉胴の空気力測定装置、開放胴の騒音測定装置、制御室を一通り案内していただきました。一般にはここまでがお決まりの見学ルートであるが、特別な計らいで無響室になっている開放胴内に入れていただき、時速270kmで走行した場合の実物大のパンタグラフ騒音試験を実体験することができた。さらに、風を作り出す風洞内部にも入れていただき、直径5mの送風機を目のあたりにしたり、送風機騒音の大型消音器で音が消える体験(消音器の前後では、相手の顔が見えても声が消滅する)をしたり、吸音コンクリートの性能を確認することができた。見学された皆さんは設備の大きさに唖然とし、細部まで見学できたことを喜んでおられた。

今回の見学は土曜日にもかかわらず特別に見せていただいたこと、名工大出身の技術者の見学ということで、特に専門的なお話を中心にしていただいたことに、紙面より感謝を申し上げる次第です。見学終了後の質疑応答では、出席者の皆さんから多くの質問が出たことは、本当に有意義な見学会であったと思われまます。

見学の後、午後5時より長浜市の「鮎茶屋かわせ」に場所を変えて、地方部会の総会ならびに懇親会を行った。「ビワマスの刺身」「生きた鮎の焼き物」に舌鼓をしながらの一杯は五臓六腑にしみわたり、この世の幸せを皆さんが満喫したかのようでした。懇親会では自己紹介やら、遊び(ゴルフ大会)の相談やらと和気あいあいのうちに始まり、思い出を沢山持たれて、午後7時に帰路につかれました。

(M46 中川平三郎)

賀支部ゴルフ大会のご案内

日時：12月13日(木) 9時8分スタート

場所：双鈴ゴルフクラブ土山コース

滋賀県甲賀市土山町南土山1118

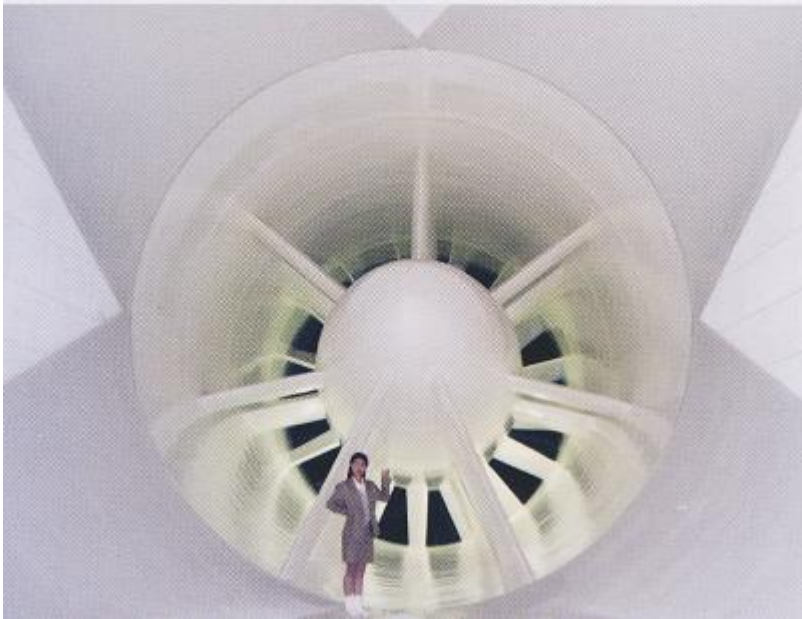
会費：7,480円(昼食付)



参加者の顔ぶれ



井門敦志風洞技術センター長からの施設と研究テーマ説明



直径 5 m の送風機もみせていただきました



長浜の「鮎茶屋かわせ」での総会と懇親会